

日本人男性2型糖尿病患者さんの 有意な血糖コントロール不良因子として、 さらに『労働時間 週60時間以上』があげられました



労働時間
週60時間
以上
($p=0.023$)

深夜の
食事と
朝食抜き
($p=0.009$)

罹病期間
10年以上
($p=0.045$)

多変量ロジスティック回帰分析

日本で週60時間以上就業する雇用者：男性12%、女性3%*

※総務省統計局. 平成29年労働力調査年報

男性2型糖尿病患者さんでは…

- ・深夜の食事や朝食抜きと血糖コントロール不良が関連します
- ・長時間労働と血糖コントロール不良が関連します

対象：国内38都道府県の医療機関96施設に通院中の20～40歳の2型糖尿病患者478名(男性352名、女性126名)

方法：2012年6～7月および2013年6～7月の診療記録および自記式調査票を用い、労働状況と健康状態を前向きに調査した。2013年の値により血糖コントロール良好群および不良群に分け、多変量ロジスティック回帰分析を用いて検討した。

*変数：糖尿病罹病期間、HbA1c(7%未満または7%以上)、糖尿病の治療内容(経口治療薬内服、およびGLP-1受容体作動薬もしくはインスリン)、喫煙、飲酒、身体活動、睡眠時間、不健康な食習慣(朝食抜き、および/または深夜の食事)、労働条件(雇用状況、週あたりの労働時間、職業の種類および交代勤務[特に夜間勤務])

Azami Y, et al. J Diabetes Investig. 2019;10:73-83 より作成



Make it Simple.

トラゼンタ®の最新情報はこちらをクリック